

大條家茶室 此君亭 のあゆみ

室町	1400 年頃	伊達家 8 代宗遠の三男 宗行 伊達家から分家、伊達郡大條邑（現在の福島県伊達市梁川町付近）を領地とする →以後、「大條」と名乗る
江戸	元和 2 年（1616） 天保 3 年（1832）	大條家 8 代宗綱 伊達政宗から亙理郡坂本を拝領 →以後、坂元一帯を領地とする 大條家 15 代 道直が伊達家から茶室を拝領（仙台川内の大條屋敷に茶室を置く）
明治・大正	明治 5 年（1872） 明治 21 年（1888）	大條家 17 代道徳、伊達家の命により姓を「伊達」に改め、「伊達宗亮」と名乗る 大條家屋敷の移転に伴い、茶室を移築（仙台川内→仙台支倉）
昭和	昭和 7 年（1932）	大條家 18 代 宗康が仙台から現在地（山元町坂元）に茶室を移築（以後、個人宅で保管される）
平成	平成 5 年（1993） 平成 14 年（2002） 平成 21 年（2009） 平成 23 年（2011） 平成 24 年（2012） 平成 25 年（2013） 平成 30 年（2018）	茶室の建物構造に関する調査を委託（委託先：東北工業大学意匠学科第三生産技術研究室） 茶室を山元町指定文化財に指定（建物が町所有になる） 茶室敷地を公有化 東日本大震災（2011.3.11）→茶室大損傷を受ける 文化財ドクター派遣事業（茶室の被害状況調査） 茶室への侵入防止柵設置 茶室の応急処置（仮養生工事）実施
令和	令和 元年（2019） 令和 2 年（2020） 令和 3 年（2021） 令和 4 年（2022） 令和 5 年（2023） 令和 6 年（2024）	茶室の部材調査実施 茶室整備基本計画 策定 茶室修復工事 基本設計着手 福島県沖地震（2021.2.13）→茶室損傷拡大 福島県沖地震（2022.3.16）→茶室損傷さらに拡大 茶室修復工事 実施設計着手 茶室修復のクラウドファンディング実施（延べ 565 人・総額 10,885,000 円の寄附） → 茶室修復工事着手 茶室修復工事完成 敷地北側庭園整備、トイレ棟建築完成 11 月 24 日（日）午後から一般公開 開始



▲大正 8 年（1918）頃の茶室【仙台支倉】



▲昭和 7 年（1932）頃の茶室【坂元】

交通案内

- 自動車の場合 常磐自動車道 山元ICから15分・山元南SICから5分
- 電車の場合 JR常磐線坂元駅から徒歩15分程度



利用案内



山元町指定文化財

大條家茶室 此君亭

- 所在地 〒989-2111 宮城県亙理郡山元町坂元字館下119番地2
- 開館時間 午前9時00分～午後4時00分
- 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）
年末年始（12月28日～1月4日）
※庭園の見学は常時可能
- 施設利用 茶室の建物、庭園の利用が可能です（要予約）
【施設使用料】
茶室建物：1時間1,000円/東側庭園：1時間500円/西側庭園：1時間500円
※茶室の建物外からの見学は無料

- 問い合わせ 山元町歴史民俗資料館
TEL/FAX 0223-37-0040
〒989-2203
宮城県亙理郡山元町浅生原字日向13番地5



茶室利用の詳細はこちら

仙台藩伊達家ゆかりの茶室





大條家茶室 此君亭

天保 3 (1832) 年、伊達家 28 代 (仙台藩 12 代藩主) 伊達 斉邦が重臣 大條 道直に与えた茶室です。東西三間半、南北四間、南面に庇が付く木造平屋建て、三畳台目・四畳半・十畳の三間で構成されます。

拝領当時、茶室は仙台北川内の大條家屋敷内に建築され、明治 21 (1888) 年に屋敷移転に伴い仙台北倉へ移築されました。その後、昭和 7 (1932) 年、大條家の拠点「坂本要害 (養首城)」の三ノ丸跡に再移築され現在に至ります。

「此君亭」の名は鈴木省三著『仙台風俗志』に残る記録によります。仙台藩上級武士層が所有した茶室の中で唯一現存する貴重な建造物です。



詳細はこちら

【山元町指定文化財 / 平成 14 (2002) 年 8 月 26 日指定】

伊達家の重臣「大條家」

室町時代に伊達家から分かれた家系。

伊達家 8 代 伊達宗遠の三男 宗行を祖とします。宗行は伊達郡大條邑 (現在の福島県伊達市梁川付近) を領地し、以後「大條」と名乗りました。

代々伊達家に仕えた重臣であり、元和 2 (1616) 年に伊達家 17 代 (仙台藩 初代藩主) 伊達政宗より亶理郡坂本 (現在の山元町坂元) を拝領。以後、明治維新までの約 250 年間この地を治めました。仙台藩家格制度の「一家」に所属し、藩政の最上位「奉行職 (他藩の家老)」を歴任した家柄で、幕末の戊辰戦争時には仙台藩の降伏・戦後処理を担当しました。

明治維新以後は、伊達家の命により「伊達姓」を名乗っています。



大條家 17 代 大條 道徳



大條家の家紋
抱き沢瀉

